平成29年度 収支決算まとまる

依然として重い納付金の負担。経常収支で赤字決算に

平成29年度の事業報告および収入支出決算報告が、
7月5日に開催された第68回組合会において承認されました。

健保組合の全国組織である健康保険組合連合会が発表した「平成30年度健保組合予算早期集計結果の概要」によると、全組合の6割を超える866組合が赤字予算を編成し、経常収支の差引額は1381億円となるとのことです。その要因としては、高齢者医療への納付金の過重な負担があげられます。

保険料率の上昇は事業主や被保険者にとって大きな負担であり、すでに限界に達しています。しかし、高齢化がピークを迎える2025年度に向けて、納付金の負担はさらに膨らみ続けることが懸念されています。高齢者医療費の負担構造改革の早期実現が待たれます。

健康保険

当健保組合の平成29年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より347万3千円少ない2億684万5千円でした。支出に対して不足する収入額を補うために積立金から359万円を繰り入れました。

一方、支出面では、皆さんの医療費や一時金などに充てられた保険給付費は、前年度より15万7千円少ない1億778万1千円でした。

また、高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より213万3千円少ない8232万1千円でした。減少したとはいえ納付金は支出全体の33%を占めており、依然として大きな財政的負担となっております。

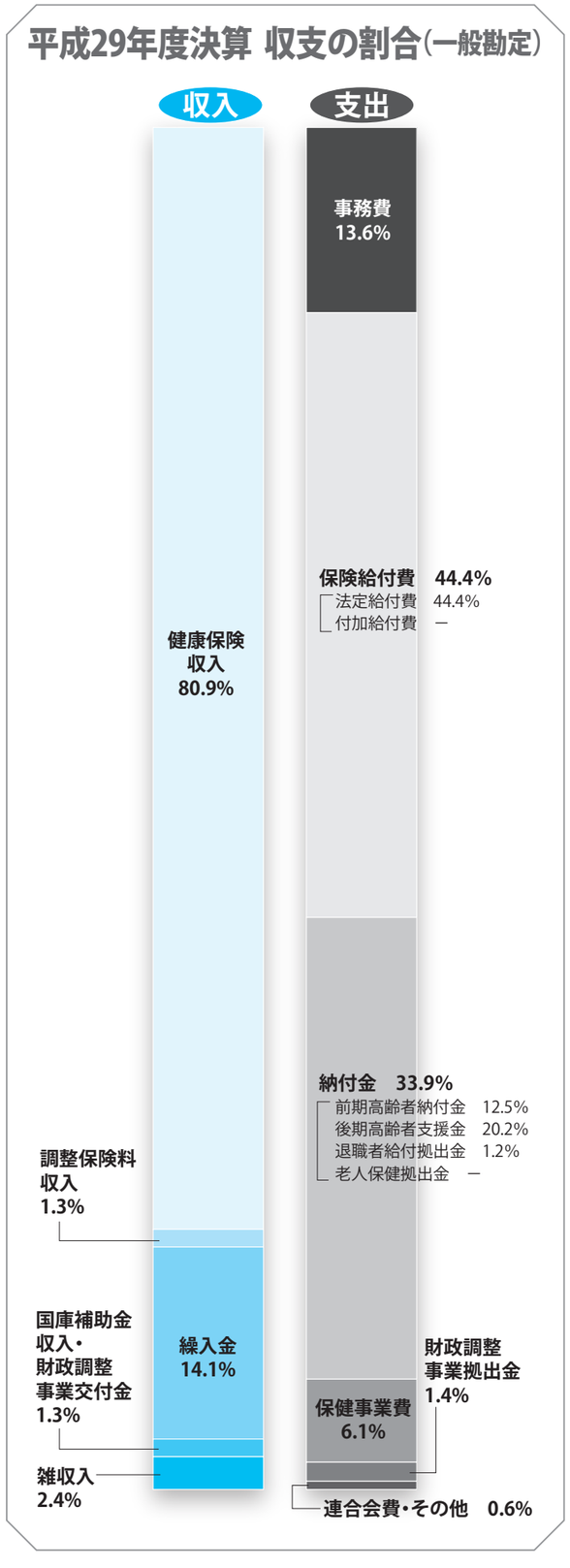
保健事業費には1484万5千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上の結果、平成29年度決算も経常収支で赤字となりました。

介護保険

介護勘定の収入支出決算は、収入2353万1千円、支出2335万8千円、差引額は17万3千円でした。

平成29年度決算 収支の割合(一般勘定)



平成29年度 収入支出の決算概要

一般勘定

●収入

科　目	決算額
健康保険収入	2億684万5千円
調整保険料収入	333万円
繰入金	3,590万円
国庫補助金収入	244万6千円
財政調整事業交付金	79万9千円
雑収入	624万1千円
合　計	2億5,556万1千円
経常収入合計	2億1,318万7千円

●支出

科　目	決算額
事務費	3,308万7千円
保険給付費	1億778万1千円
法定給付費	1億773万5千円
付加給付費	4万6千円
納付金	8,232万1千円
前期高齢者納付金	3,033万2千円
後期高齢者支援金	4,904万3千円
退職者給付拠出金	294万5千円
老人保健拠出金	1千円
保健事業費	1,484万5千円
財政調整事業拠出金	333万円
連合会費	41万6千円
積立金	80万円
雑支出	16万8千円
合　計	2億4,274万8千円
経常支出合計	2億3,941万8千円

経常収入支出差引額	△2,623万1千円

介護勘定

●収入

科　目	決算額
介護保険収入	2,235万6千円
繰入金	88万7千円
国庫補助金受入	25万6千円
雑収入	3万2千円
収入合計	2,353万1千円

●支出

科　目	決算額
介護納付金	2,335万8千円
支出合計	2,335万8千円